

ごみの減量実績

1 ごみの減量化に向けた目標について

現在、浪岡地区のごみについては、黒石地区清掃施設組合が処理しているところであるが、このうち、可燃ごみについては、令和 8 年に予定されている黒石地区清掃施設組合及び弘前地区環境整備事務組合によるごみ処理施設の広域化を見据え、浪岡地区及び広域町村を含めた全てのごみについて青森市清掃工場で処理できるよう、年間 800 トン、5 年間の合計で 4,000 トンの減量となる新たなごみの減量化目標を、令和元年度に定めたところである。

2 ごみの減量化に向けた新たな目標及び減量実績（青森地区＋浪岡地区＋広域町村）

令和 3 年 9 月末時点での年間の可燃ごみ排出推計値は 85,462 トンとなっており、昨年度と比較して、現時点では 706 トン増加の見込みとなっている。

ただし、令和 2 年度及び令和 3 年度の 2 年間合計では 1,600 トンの減量目標に対し、958 トン多い 2,558 トンの減量見込みとなっている。

(単位：t)

区分	減量目標	内訳		目標設定時における目標排出量	減量実績 (前年度比)	減量実績－減量目標
		施策減量効果	人口減少に伴う減量			
令和元年度	—	—	—	87,663	—	—
令和 2 年度	800	200	600	86,863	3,264	2,464
令和 3 年度	800	200	600	86,063	△706* ¹	△1,506
令和 4 年度	800	200	600	85,263	—	—
令和 5 年度	800	200	600	84,463	—	—
令和 6 年度	800	200	600	83,663	—	—
5 年間の合計	4,000	1,000	3,000	—	—	—

※1 令和 3 年度の可燃ごみ排出量については、9 月末時点での見込み量

